

心理学理論と心理的支援

問題 8 マズロー(Maslow, A.)による人間の欲求階層又は動機づけに関する理論について、次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 階層の最下位の欲求は、人間関係を求める欲求である。
- 2 階層の最上位の欲求は、自尊や承認を求める欲求である。
- 3 階層の下から3番目の欲求は、多くのものを得たいという所有の欲求である。
- 4 自己実現の欲求は、成長欲求(成長動機)といわれる。
- 5 各階層の欲求は、より上位の階層の欲求が充足すると生じる。

問題 9 知覚に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 外界の刺激を時間的・空間的に意味のあるまとまりとして知覚する働きを、知覚の体制化という。
- 2 明るい場所から暗い場所に移動した際、徐々に見えるようになる現象を、視覚の明順応という。
- 3 個人の欲求や意図とは関係なく、ある特定の刺激だけを自動的に抽出して知覚することを、選択的注意という。
- 4 水平線に近い月の方が中空にある月より大きく見える現象を、大きさの恒常性という。
- 5 二つの異なる刺激の明るさや大きさなどの物理的特性の違いを区別することができる最小の差異を、しげいき刺激閾という。

問題 10 社会的関係において生じる現象に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 初対面の人の職業によって、一定のイメージを抱いてしまうことを、同調という。
- 2 相手に能力があると期待すると、実際に期待どおりになっていくことを、ハロー効果という。
- 3 頻繁に接触する人に対して、好意を持ちやすくなることを、単純接触効果という。
- 4 外見が良いことによって、能力や性格など他の特性も高評価を下しやすくなることを、ピグマリオン効果という。
- 5 集団の多数の人が同じ意見を主張すると、自分の意見を多数派の意見に合わせて変えてしまうことを、ステレオタイプという。

問題 11 発達障害に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 限局性学習症(SLD)は、全般的な知的発達に遅れが認められる。
- 2 自閉スペクトラム症(ASD)は、通常、6歳以降に発症する。
- 3 自閉スペクトラム症(ASD)は、知的障害を伴わないのが特徴である。
- 4 自閉スペクトラム症(ASD)と注意欠如・多動症(ADHD)の両方が併存することがある。
- 5 注意欠如・多動症(ADHD)は、男児よりも女児の方が有病率が高い。

(注) 選択肢に使われている診断名に係る用語は、「精神疾患の診断・統計マニュアル(DSM-5)」に基づく。

問題 12 心的外傷後ストレス障害(P T S D)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 心的外傷後ストレス障害(P T S D)は、自然災害によっても引き起こされる。
- 2 フラッシュバックとは、心的外傷体験に関する出来事を昇華することである。
- 3 心的外傷後ストレス障害(P T S D)は、心的外傷体験後1か月程度で自然に回復することもある。
- 4 過覚醒とは、心的外傷体験に関する刺激を持続的に避けようとすることである。
- 5 回避症状とは、心的外傷体験の後、過剰な驚愕^{きょうがく}反応を示すことである。

問題 13 心理検査に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 特別支援学級への入級を検討したい子どもの知能検査を学校から依頼されたので、ロールシャッハテストを実施した。
- 2 改訂長谷川式簡易知能評価スケールの結果がカットオフポイントを下回ったので、発達障害の可能性を考えた。
- 3 10歳の子どもに知能検査を実施することになり、本人が了解したので、W A I S - IV を実施した。
- 4 投影法による性格検査を実施することになったので、矢田部ギルフォード(Y G)性格検査を実施した。
- 5 W I S C - IVの結果、四つの指標得点間のばらつきが大きかったので、全検査 I Q (F S I Q)の数値だけで全知的能力を代表するとは解釈しなかった。

問題 14 認知行動療法に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 セラピストは、クライアントが独力で問題解決できるように、クライアントとの共同作業はしない。
- 2 他者の行動観察を通して行動の変容をもたらすモデリングが含まれる。
- 3 クライアントは、セッション場面以外で練習課題を行うことはない。
- 4 リラクゼーション法は併用しない。
- 5 少しでも不快な刺激に曝^{さら}すことは避け、トラウマの再発を防ぐ。